

English Grammar Handbook for the TOEFL® Test

音読でたたくこむ

TOEFL®テスト

英文法

TOEFL is a registered trademark of
Educational Testing Service (ETS).
This publication (or product) is not
endorsed or approved by ETS.

生井 健一 著

**TOEFL is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This publication (or product) is not endorsed or approved by ETS.**

はじめに

この本にあるのは、アメリカの学校英文法の練習問題および解説であり、スタイルは、TOEFLのものを踏襲している。ここで取り上げられている文法項目は、ごく初歩的なものから、洗練された文章を書くのに必要とされるものまで多岐に渡る。特に仕事で英語を使う人、また留学を希望する人などは、どうしても正確な英語を操る能力が要るので、最低でもこの本に紹介されている項目くらいは押さえておきたいものである。よって、問題を解く際には、ただ単にくじを引くような感覚で問題にあたるのではなく、どうしても正確な英語を操る能力が要るので、最低でもこの本に紹介されている項目くらいは押さえておきたいものである。よって、問題を解く際には、ただ単にくじを引くような感覚で問題にあたるのではなく、どうしても正確な英語を操る能力が要るので、最低でもこの本に紹介されている項目くらいは押さえておきたいものである。よって、問題を解く際には、ただ単にくじを引くような感覚で問題にあたるのではなく、どうしても正確な英語を操る能力が要るので、最低でもこの本に紹介されている項目くらいは押さえておきたいものである。

さて、文法項目と言っても、実際に使われる重要なものはそれほど多くない。本書では、最近のTOEFLにおける文法セクションに出題された問題のパターンを200に厳選し、前半の100題くらいで主に文法項目の解説を行い、後半では、特に重要と思われる成句および個々の単語の使われ方を紹介した。また、ポイントをわかりやすくするために、各問題文中の単語のレベルはあまり難しくないものに抑えた。しかしながら、TOEFLにおける純粋に文法を問う問題の対策としては、本書の内容でその9割以上をカバーできると言える。後は、単語と成句をどれだけ知っているかの勝負で、これは、リーディング、リスニングのみならず、文法セクションでの高得点にも欠かせない。実用的な英文法など、それほど難しくないのが、本書で早くポイントを押さえて、後は単語および成句の知識を増やすことのほうにエネルギーを費やしてほしい。結局のところ、この知識が英語の総合力を決定するのだから。

I would like to thank Curtis McFarland, Yuri Noma and Kenji Suzuki for proofreading the first draft of this book. I would also like to thank William Rozycki and Kentaro Wakui for their very helpful comments.

生井 健一

本書の使い方

本書は大きく分けて3つのパートから成っている。パート1が本書の心臓部。10ずつの例題の後に解説がなされている。(訳文は意識なので、あくまでも参考程度に)問題は全部で200。答を選ぶ際に「どうしてそうなのか」をきちんと考え、その上で解説にあたってほしい。その後、問題文を繰り返し音読して、できれば文章をすべて暗記してしまおう。(付属のCDはこの目的のためにある。その具体的な使い方は、付属の小冊子参照。)各文法項目を押さえたこれら200の例文ストックが頭の中になれば、英作文(および英会話)のときに必ず役に立つ。(特にコンピュータを用いて受験する最近のTOEFL-CBTでは英作文が必須であるので、TOEFL受験を考えている人は英作文対策の第一歩になるであろう。)

パート2には、パート1の解説に間接的に関連する事項をNotesという形でまとめたものと、各特徴ごとに集められた英単語と表現のリストがある。パート1の解説中でNoteとListについての言及があるときはここを見てほしい。

パート3は知識の確認のための練習問題集。40題ずつのテスト形式になっていて、テストは全部で5つある。テスト範囲はパート1の例題番号に準拠しているので、パート1で40の例題を終わらせるごとにパート3のテストを1つずつやってみることができる。もちろん、パート1の例題をすべて解いてからパート3のテストを一気にやっても構わない。また、各問題の答には、パート1中のどの例題に準拠する問題であるのかを「☞」で示してあるので、適宜これを利用して解説を読み直し、知識をより確実なものにしてほしい。

TOEFLの対策としては、本書の例題および練習問題がそれぞれ約30秒で解けるようになりたい。そのためには練習あるのみ。まず、本書の問題を何度も繰り返し解いてみて、瞬間的に「どういう理由でどの答になるのか」がわかるようになるまで努力してみよう。その後はETSから出ている実際のTOEFLの問題集にあたって数多くの問題を解いてみる。単語力が極端に低い場合を除いて、すぐにコツがつかめるはずである。そうすれば自分が英語を書く(または話す)際にも、自然に文法に注意が向くようになり、確実に英語の総合力増進に役立つはずである。

目次

PART 1

1. 形容詞十名詞(1)	12	35. 二重目的語	33
2. 形容詞十名詞(2)	12	36. 二重主語	34
3. 形容詞十名詞(3)	13	37. there is / are	34
4. 形容詞vs.分詞	13	38. 動名詞(1)	34
5. 副詞(1)	14	39. 動名詞(2)	35
6. 副詞(2)	14	40. 命令文	35
7. 肯定・否定の同意 (Affirmative / Negative Agreement)	15	41. to不定詞(1)	38
8. 一致(1): 時制	15	42. to不定詞(2)	38
9. 一致(2): 再帰代名詞	16	43. to不定詞(3)	39
10. 一致(3): 数量詞	16	44. 助動詞	39
11. 一致(4): 集合名詞	20	45. ~倍(1)	39
12. 一致(5): 数量詞主語	20	46. ~倍(2)	40
13. 一致(6): 主語・動詞・代名詞	21	47. 数字(1)	40
14. 一致(7): 単複同形名詞	21	48. 数字(2)	41
15. 一致(8): other	21	49. 数字(3)	41
16. 一致(9): various	21	50. 並列構造(1)	41
17. 一致(10): 不可算名詞	22	51. 並列構造(2)	44
18. 一致(11): both	22	52. 並列構造(3)	44
19. 同格	22	53. 並列構造(4)	44
20. 冠詞(1): 学問分野等	23	54. 並列構造(5)	45
21. 冠詞(2): 定冠詞	26	55. 分詞構文(1)	45
22. 冠詞(3): 不定冠詞	26	56. 分詞構文(2)	45
23. 可算名詞vs. 不可算名詞	27	57. 分詞構文(3)	46
24. 格(1): 目的格	27	58. 分詞構文(4)	46
25. 格(2): 所有格	27	59. 分詞構文(5)	47
26. 強調構文	28	60. 分詞の形容詞的用法(1)	47
27. 比較級(1)	28	61. 分詞の形容詞的用法(2)	50
28. 比較級(2)	29	62. 分詞の形容詞的用法(3)	50
29. 比べるものと同じに(1)	29	63. 受動態(1)	51
30. 比べるものと同じに(2)	29	64. 受動態(2)	51
31. 複合名詞	32	65. 受動態(3)	51
32. 条件節(1): 仮定法	32	66. 後からの修飾句	52
33. 条件節(2)	33	67. 前置詞	52
34. 接続詞	33	68. 現在完了(1)	53
		69. 現在完了(2)	53
		70. 代名詞(1)	54
		71. 代名詞(2)	58

72. 発音	58	109. a number of, etc.	79
73. 関係副詞(1)	59	110. known for	79
74. 関係副詞(2)	59	111. a great deal of	82
75. 関係代名詞(1)	59	112. act on	82
76. 関係代名詞(2)	60	113. along with	82
77. 関係代名詞(3)	60	114. already vs. yet	83
78. 関係代名詞(4)	60	115. any other	83
79. 関係代名詞(5)	61	116. appear to	83
80. 関係代名詞(6)	61	117. as - as	84
81. 先行詞を兼ねた関係詞	64	118. as in	84
82. 逆順のパターン(1)	64	119. associate A with B	84
83. 逆順のパターン(2)	65	120. begin to	85
84. 逆順のパターン(3)	65	121. benefit from	88
85. 逆順のパターン(4)	66	122. between A and B	88
86. 時制(1)	66	123. both A and B	89
87. 時制(2)	66	124. by	89
88. 強調の倒置(1)	67	125. by oneself	90
89. 強調の倒置(2)	67	126. be concerned about	90
90. 命令・要求のときの原形(1)	67	127. continue to	90
91. 命令・要求のときの原形(2)	70	128. 温度	91
92. 最上級(1)	70	129. despite / in spite of	91
93. 最上級(2)	70	130. differ	92
94. S + V(1)	71	131. each / every	96
95. S + V(2)	71	132. each other	96
96. S + V(3)	71	133. neither A nor B	96
97. SVC	72	134. enjoy + 動名詞	97
98. SVOC(1)	72	135. enough	97
99. SVOC(2)	72	136. first vs. firstly	97
100. same as	73	137. from A to B	97
101. same - as	76	138. get - to	98
102. keep A from B	76	139. 間接目的語	98
103. look forward to	77	140. good vs. well	99
104. (un) like vs. alike	77	141. have no idea	102
105. 接続詞	77	142. hear vs. listen	102
106. years of age	78	143. help	103
107. 副詞 vs. 形容詞	78	144. in the world	103
108. in need of	79	145. including	103

List 3 : 要求・命令の形容詞	148
List 4 : 要求・命令の動詞	149
List 5 : to不定詞をとる動詞	149
List 6 : to不定詞、動名詞ともにとる 動詞	150
List 7 : 動名詞のみをとる動詞	150
List 8 : 慣例的に the のつくもの	151

PART 3

Practice Test 1	154
Practice Test 2	161
Practice Test 3	168
Practice Test 4	175
Practice Test 5	183

**English Grammar Handbook
for the TOEFL® Test**



PART 1

Directions: Questions 1-10 are incomplete sentences. Beneath each sentence, you will see four words or phrases, marked a, b, c, and d. Choose the **one** word or phrase that best completes the sentence.

1. The Japanese wolf was thought to be a ----- and was hunted to extinction.
 - a. danger animal
 - b. dangerous animal
 - c. animal danger
 - d. danger and animal

2. Despite some -----, the National University of Singapore is admitting more foreign students.
 - a. locally protests
 - b. locally protester
 - c. locals and protested
 - d. local protests

3. The scientist's ----- was in what she thought to be a simple chemical reaction.
 - a. initial interest
 - b. initially interesting
 - c. initial interesting
 - d. interesting initials

4. In the end, we succeeded in making a film out of the science fiction, while still managing to make it feel -----.
 - a. believed
 - b. believing
 - c. believable
 - d. like being a believer

5. We should check ----- that there are no careless mistakes before we turn in our exams.
 - a. care
 - b. careful
 - c. carefully
 - d. carefulness

6. We would like to offer a ----- more sophisticated cruise experience, from upgraded cuisine to curtains and double beds in the berths.
- signifying
 - signified
 - significant
 - significantly
7. During the interview, the author's legs were crossed, and much of the time -----, as if she was shielding herself from public prying.
- neither were her arms
 - her arms did so
 - so were her arms
 - her arms didn't either
8. The announcement that scientists have made the first reading of the human genetic code marks the next major step in the project, since scientists ----- decoding the human genome last June.
- will have finished
 - will finish
 - has finished
 - finished
9. In his nervous gestures, his discomfort with the situation clearly -----.
- manifesting them
 - has manifested it
 - will be manifesting by himself
 - manifested itself
10. ----- of computer program that has been developed at the institute is an excellent machine translation program.
- Many sort
 - A certain kinds
 - Two variety
 - One type

1. The Japanese wolf was thought to be a ----- and was hunted to extinction.
- danger animal
 - dangerous animal
 - animal dangers
 - danger and animal

答：b ニホンオオカミは危険な動物であると思われ、乱獲の結果絶滅してしまった。

1. 形容詞＋名詞①

名詞を修飾するのはふつう形容詞である。ここで形容詞＋名詞（dangerous＋animal）の形をなしているのはbだけ。

2. Despite some -----, the National University of Singapore is admitting more foreign students.
- locally protests
 - locally protester
 - locals and protested
 - local protests

答：d 地元で抗議があるにも関わらず、シンガポール国立大学は外国人学生の数を増やしている。

2. 形容詞＋名詞②

形容詞と副詞の使い方をみる問題。a、bともに副詞＋名詞であるのでアウト。（副詞は名詞以外の品詞を修飾するが、このことが出題されることもある）。cは名詞のlocalsと動詞のprotestedがandで結ばれていて意味をなさない（問題50～54の並列構造参照）。形容詞のlocalが名詞protestsを修飾するdのみが正しい形である。

3. The scientist's ----- was in what she thought to be a simple chemical reaction.
- initial interest
 - initially interesting
 - initial interesting
 - interesting initials

答：a 簡単な化学反応にすぎないと思っていたものに科学者は最初興味を持っていた。

3. 形容詞十名詞③

答の入る部分はwasの直前なので主語である。The scientist's「科学者の」ときているから、名詞句が要求されていることがわかる。bは副詞十形容詞、cは形容詞十形容詞であるからともに候補から消える。dは形容詞十名詞ではあるが、その意味「興味深いイニシャル」が文意に合わず、その上、initialsとwasでは数の一致が見られない。よって答はa。

4. In the end, we succeeded in making a film out of the science fiction, while still managing to make it feel -----.
- a. believed
 - b. believing
 - c. believable
 - d. like being a believer

答：c 我々は最終的にそのSFからいかにもありそうな話の映画を作り出すことに成功した。

4. 形容詞vs.分詞

単語の意味の問題。while以下は「それ(=映画)をどうにかbelievableに感じさせながら」というもの。映画が「信じられる」、つまりその内容が「ありえそうだ」という「可能」の意味が一番しっくりくる。aの過去分詞「信じられる(受身)」、bの現在分詞「信じる、信じている」は、ここではおかしい。dのfeel like -ingは「～したい」という意味なのでアウトである(feel十形容詞のパターンについては、問題197参照)。

5. We should check ----- that there are no careless mistakes before we turn in our exams.
- a. care
 - b. careful
 - c. carefully
 - d. carefulness

答：c 試験を提出する前に、ケアレスミスがないように注意深くチェックするべきだ。